

豊前中学校基本設計の概要

- 1 外 観
- 2 全体配置計画
- 3 『学びの森』
- 4 校舎平面計画
- 5 建設計画

外觀

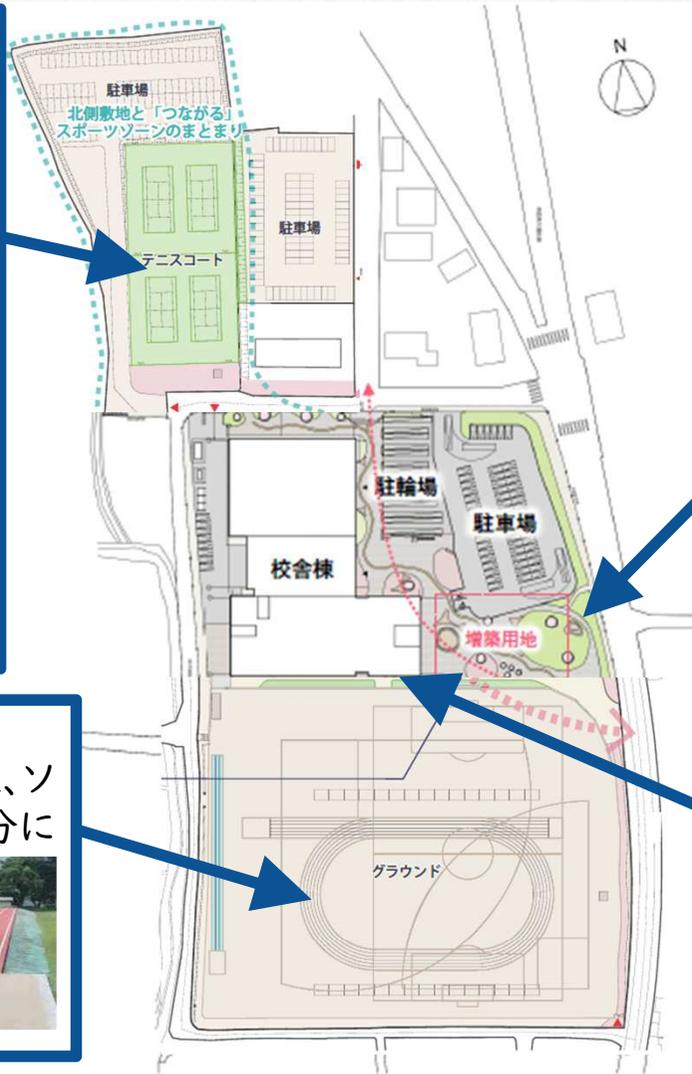


学校全体の配置計画

新たなスポーツゾーン

文武両道を目指す教育方針に従い、部活動や体育活動にも取り組みやすい配置にします。

北側にはオムニテニスコート4面や部室棟といった運動ゾーンと屋内運動場を一体的なまとまりをもって計画します。駐車場も広くとれるため、このエリアをまとまりをもって計画することで、地域開放も行いやすく、運用の面でも利点が生まれます。



まちに向かって大きく開けた地域と「つながる」学校

豊前市のまちの大動脈である県道犀川豊前線に向けて大きなオープンスペースを構えます。生徒や地域住民の交流空間となる緑豊かで快適な空間がまちにうるおいを与えることで多様な出会いや交流が生まれ、活気ある学びの環境を作ります。

広々とした南側グラウンド

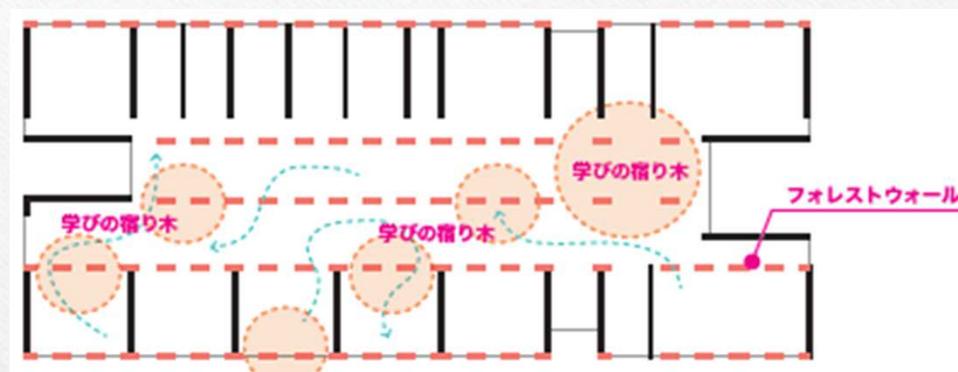
グラウンドは、ほぼ正方形に近く野球、ソフトボール、陸上などの運動部が十分に活動できる広さを確保しています。西側には直線のタータンコースを設置します。



コンパクトにまとめた校舎棟

今後人口減少が進むと予想され、さらなる再編成の可能性が示されています。将来的に小学校を増築し、小中一貫校となることも見据え、校舎と体育館を一棟にまとめ、敷地の余白を最大化することで、将来への備えとします。

コンセプト 『学びの森』



教室だけでなく、学校中が学びの舞台となるよう、空間を柔らかく区切る「フォレストウォール」を骨格とした学校を計画します。フォレストウォールはただの間仕切りではなく、時にはプレゼンウォールとして、時には掲示板として役割を変化させながら学びの宿り木として機能します。



校舎平面計画 1階



温度・湿度調節エアコン完備
正規サイズのバスケットコートが
2面取れるサイズ
床は長尺弾性塩ビシート



メディアセンターと一体的に利用できる学習スペースを
校務センターに隣接配置し、学びを身近なものにします。

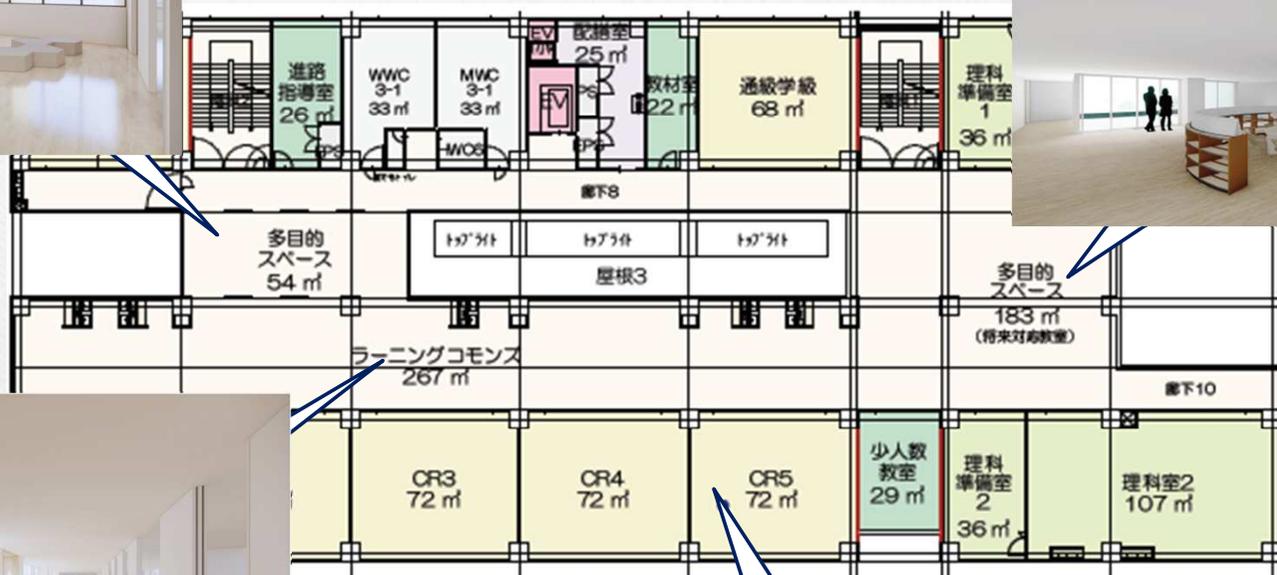


校舎平面計画 2～4階

サテライトメディア
関連した図書を開架する円
形書架と閲覧スペースを設
け、自発的な興味を促し主
体的な学びへと導きます。



多目的スペース
休憩時間にくつろげるスペースにもなります。

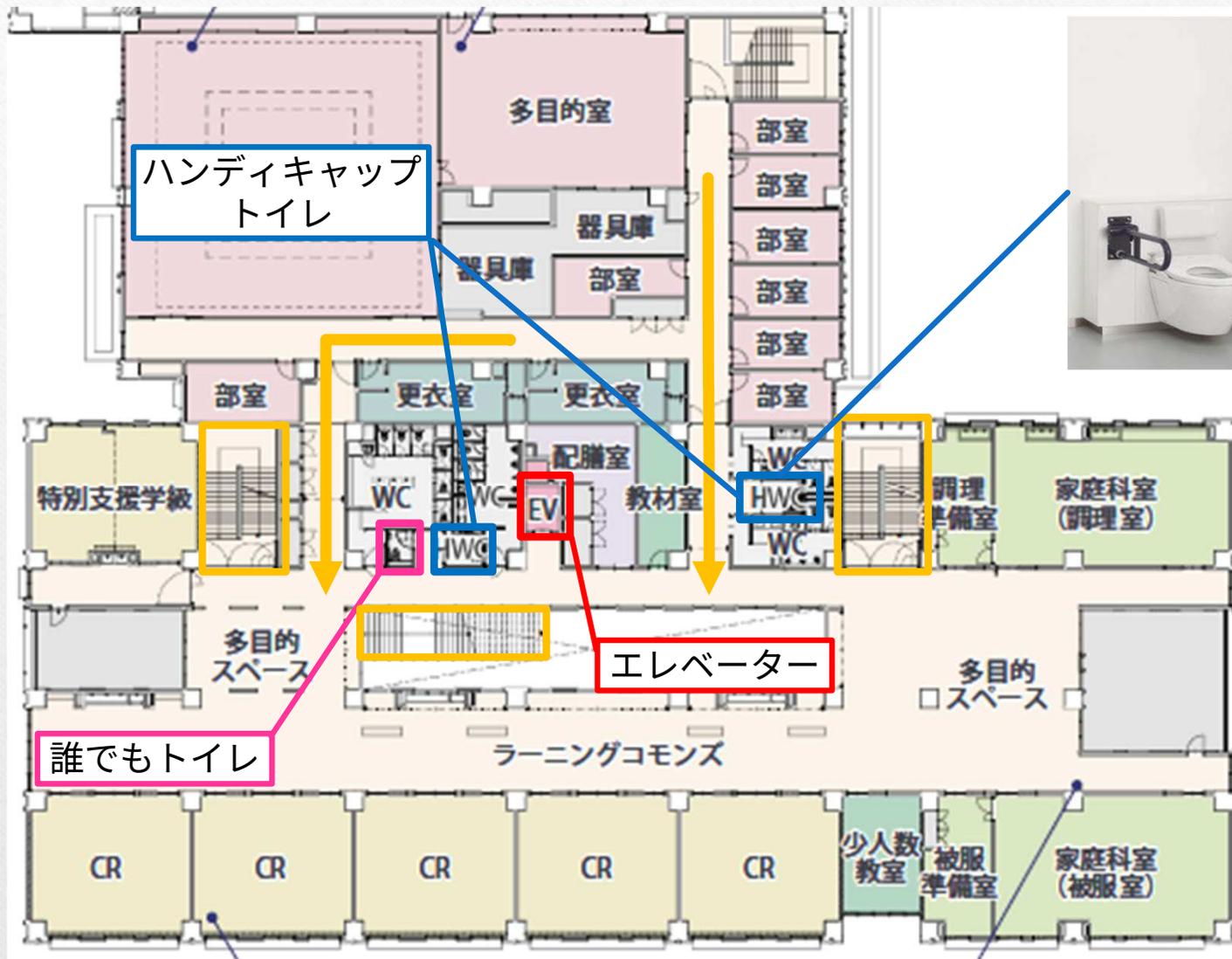


ラーニングcommons
広々とした廊下でグループ学習ができます。



教室

校舎平面計画 安全・安心への配慮



校舎平面計画 安全・安心への配慮

インターホンシステム（防犯：不審者侵入と居場所を自動放送する）



不審者侵入

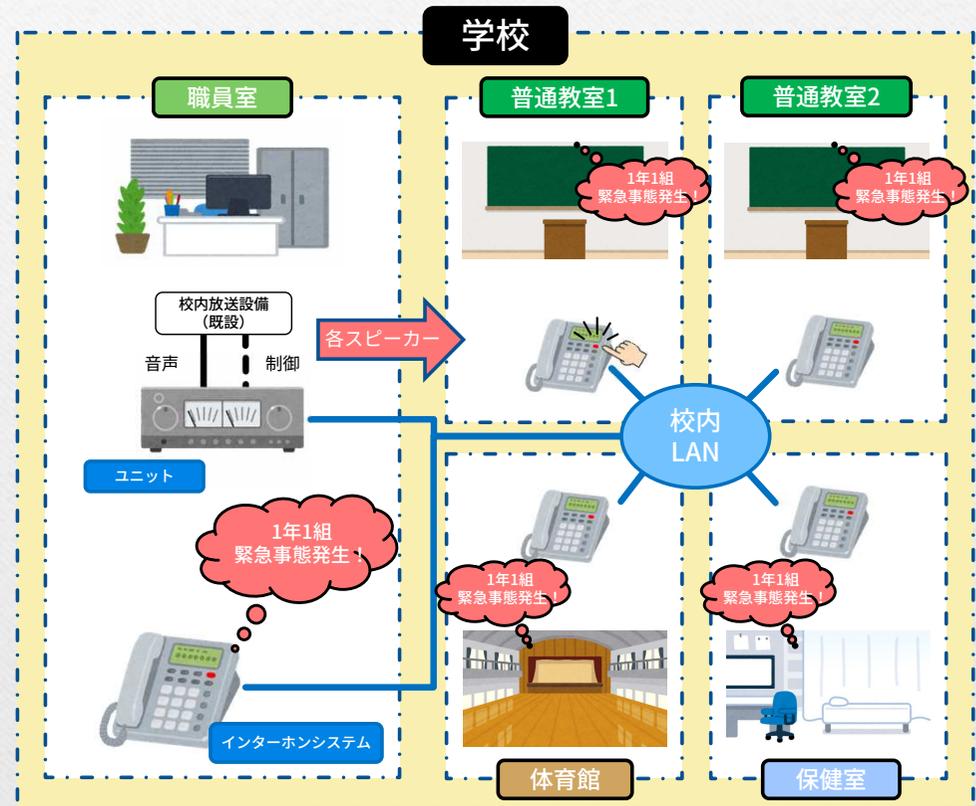


新システム



校舎内すべての教室に防犯・事故対応のインターホンシステムを設置

校内に不審者が侵入した際、非常ボタンを押下。
押された教室名や場所を学校の放送設備から自動放送するので、不審者の居場所を職員で共有でき、生徒を安心な方向に避難させられ、被害拡大を防止できます。



「ワークショップ」で出された意見

令和5年11月2日
市役所大会議室にて



進め方を確認する



アイデアを出し合う



みんなで検討する

テーマ1 「学習空間」

- ✓ 個別空調できる教室
- ✓ 教室と広い廊下の一体化
- ✓ グループ学習、個別学習がしやすい空間
- ✓ 友達と宿題や勉強が一緒にできる空間
- ✓ 体育館にエアコン

テーマ2 「生活空間」

- ✓ 明るく清潔な洋式トイレ
- ✓ ジェンダーレスなトイレ
- ✓ 広いグラウンド
- ✓ 安全かつ十分な駐車場
- ✓ 明るく広い廊下
- ✓ 生徒用更衣室の整備
- ✓ エレベーター等バリアフリー化

テーマ3 「地域連携」

- ✓ 広くて地域開放可能な体育館
- ✓ 地域イベントのできる中庭・ホール
- ✓ 地域・国際交流のできるスペース
- ✓ インターネット環境の整備(ゲストWi-Fiなど)

事業スケジュール

